

第2回 旧扇浦浄水場跡地利用説明会 議事概要

〔日 時〕平成27年10月13日（火）午後の部14:00～ 夜の部19:00～

〔場 所〕扇浦交流センター

〔参加者〕村民 午後の部4名、夜の部6名

役場 篠田建水課長、岩本課長補佐、樋口企画政策室長、石原主査

〔議 事〕①旧扇浦浄水場跡地利用計画案の説明

1. 説明

①旧扇浦浄水場跡地利用計画案の説明 … 樋口企画政策室長

2. 意見、質疑応答概要

<午後の部>

村民：カヌー置き場を跡地に作った場合、道路を横断することになるが、安全確保の面で疑問がある。そもそもカヌー置き場を移動させる必要があるのか。スロープの意味もないので、スロープにお金をかけるのはもったいない。

役場：足元の安全確保などの面でコンクリートの通路があった方がいいということはないか。

村民：砂浜のままの方がいい。人工物はイメージもよくない。

村民：跡地のエントランスにカヌーがあるのはどうかなと思う。

村民：国有林の土地も村が管理するのか。跡地にカヌー置き場を整備した場合は、村役場が利用料を徴収するのか。

役場：国有林の土地を村が管理することはない。村が料金を徴収するかは、これからの話である。

村民：タマナの大木は切ってしまうのか。

役場：残したいと考えている。

村民：もし切るなら、50年後に大木になるように植えましょう。

村民：浄化槽がある側の通路だが、駐車場を道路側にすれば通路がいらないということにならないのか。限られた土地なのでなるべく有効に使いたい。

役場：この通路は駐車場の切り返しのために必要である。また道路管理者としては、直接都道に出入りする間口は長いと安全上問題があり、必ず出入り口を別にして一体で駐車場整備を行うことが基本となる。

村民：小港の園地の駐車場のようにする必要があるということか。

役場：そうである。

村民：調整池は時雨ダムからのラインか。入れ替えはどうするのか。

役場：ラインは連珠ダムである。運用としては連珠ダムからの原水を調整池を通して浄水場に送る。

村民：もっと節水と呼び掛けるべき。足りなくなってから節水しましょうではなくて、普段から徹底して節水を啓蒙してもらいたい。

役場：そのようにしていきたい。

村民：カヌー置き場はやっぱり海岸でという考え方もあるか。

役場：村民の方の意見がそうであれば、上は緑地で整備することになるか。

村民：やはりカヌー置き場が都道より上にあると、安全確保が難しいというのものもあるし、カヌーを持っている人からすれば多分面倒になる。

村民：結局、海岸に置く人が増えて、せっかく作ったものが有効活用されなくなる。ここは直線道路だから車もスピードを出すので危ない。

村民：園地にするのであれば、小さい子供たちがすぐ道路に飛び出さないように、手摺りぐらいのフェンスがあった方がいい。小さい子が遊べる場所にしてもらえらるなら、安全対策はお願いしたい。

村民：広い芝生だけの風景は景観的にも素敵だと思う。

村民：もし何かを作るなら、日陰があるベンチがあると、そこで本を読んだりのんびりする人も出てくる。日陰を作るお金があったら東屋などがほしいが、お金がなければ芝生だけでも別にいい。

村民：コンクリに囲まれた園地というのは落ち着き感がない。

村民：調整池の上を芝生で覆うことはできるのか。

役場：それはできる。

村民：子供たちが遊べるスケートボードパークは作れないのか。島内でも禁止になっているところが多い。

役場：今までの話だと芝生にしたいという意見だが、それをコンクリートにする部分が出てくる。芝でも組み立て式キットでスケートボードできるというものもあるのか。

村民：臨機応変にはできると思う。子供たちが遊ぶ場所になって、どんどん集まれるような魅力的な場所になるよう考えてもらいたい。

村民：温浴施設はできないのか。海水の温水プールのようなものなら、メンテナンスも比較的いらぬようなものができるのではないか。

役場：不特定多数の方が使うプール形式の施設となると、保健所の衛生管理の規制が厳しく、管理に予算がかかってしまう。

村民：設備もかかるし、人員の配置やメンテナンスで、お金がかかってしまうのではないか。

役場：スケートボードパークも温浴施設も、将来的な使い方へのご意見として承っておく。

村民：村も予算がないのだから、同じ子供たちの施設を作るということなら、この跡地にお金をかけずに保育園の建替えを進めてほしい。

役場：保育園の建替えは検討を開始している。

村民：今は台風の時にカヌーを既存の駐車場の山側に置かせてもらっている。そうした避難場所があるといい。

役場：緊急避難場所については確かにあった方がいいので考えておく必要がある。

村民：調整池の整備にはどれぐらいかかるのか。

役場：平成30年度の完成を目指している。

<夜の部>

村民：カヌー置き場は昔から海岸にあったので、時化の時だけ上にあげればいい。

村民：道路より山側に移す必要はない。交通量も多いし、カヌーを運ぶのに危険を伴う。

村民：緑地にしておけば将来何か計画が出てきてもある程度対応できるのではないか。

村民：管理通路の幅はどれぐらいか。

役場：これから決めていく話だが、車が通れるぐらいのイメージである。

村民：現在国有林から借りたくても借りられない人がいるかもしれない。国有林の方でも整理をしてもらいたい。サップの置き場は必要かもしれない。

村民：海外の場所には使っていないヨットもある。景観としてもよくないので、片づけるなどして整理してもらいたい。

役場：国有林の方へ伝えていきたい。

村民：駐車場はプラス数台の整備で十分である。それ以上は必要ない。緑地にして、遊具でもあって子供たちが遊べる環境にしてもらいたい。

村民：煮炊きできるような場所は作れないのか。

役場：衛生管理上なかなか難しい。バーベキューセットなどを持ち込んで使えるようにしたい。

村民：カヌー置き場を作らないなら、観光の雨天時対策として海水プールのようなものを作ったらどうか。

役場：衛生管理などに予算がかかり、村の財政事情からして厳しい。雨天時対策は既存施設を活用していく方向で考えていきたい。

村民：スケートボードパークはどうなったのか。

役場：コンクリートの構造物についてはイメージがよくないという声もある。組み立て式のキットのようなもので一時的に使える方法があるならそうした検討もしたい。

村民：住民から聞いた意見をどうやって今後絵に落とし込むのか。

役場：すべての要望には応えられないが、意見を拝聴した上で村が判断したい。出来ないものはご理解いただけるように努めたい。

村民：緑地だけというのはどんなイメージなのか。

役場：小港園地のようなイメージをしている。今後社会状況も変わっていくと思われるので、何かに対応できる余地は多少残しておきたい。

村民：休める場所がないといけないので日蔭は必要である。

役場：そうした意見は聞いている。タマナの大木も残したいと考えている。

村民：更地にした後緑地にして、子供たちが遊べる場所があったらいい。扇浦周辺の子供たちは、近くに奥村グランドのように遊べる広い場所がない。ハコモノは将来的に必要ながあれば検討ということでもいいのではないか。

村民：水道の配管は地中に埋設しているのか。

役場：津波のこともあるので極力埋設する方針で進めている。

村民：トイレも一箇所ぐらいはあったらいい。

役場：レストハウスがあるからいらぬという議論もある。

村民：トイレはやっぱり山側にもほしい。

村民：神社への管理通路は村の管理にはならないのか。

役場：神社周辺の文化財の見方を変えれば、村管理の遊歩道という整理も考えられるかもしれない。

村民：タマナを残して芝生の緑地にしておけば間違いはないと思う。

村民：浄化槽がある場所の山裾をきれいにできないか。

役場：緑地を広げるイメージで検討してみる。

(終了)

以 上